



アレルギーネットワーク」と名称を変え活動を展開。その中で企業や自治体などと連携する事業部の活動領域が広がり、2006年「NPO法人アレルギー支援ネットワーク」として独立。患者(会)や自治体・企業などの橋渡し役(中間支援組織)として、アレルギー大学・患者会のサポート・自治体や企業の皆さまとの協働研究、アレルギーっ子の防災対策など様々な事業を精力的に推進しました。

東日本大震災の折には、新潟市で打ち合わせ中に被災しましたが、新潟の支援団体のご協力をいただき、いち早く新潟に物資を集め緊急車両の許可をとり、二日後にはアレルギー対応物資を積んで被災地に向かい、アレルギー患者家族の方々への支援に奔走しました。阪神淡路大震災や中越沖地震などにおける支援活動の経験と教訓をもとに、自治体や防災ボランティア団体の方と連携をして次々に支援物資拠点を作り、全国様々な地域から協力を申し出てくれたバイクボランティアさんの手により患者の方に物資をお届けしました。そして、3ヶ月後の6月には大船渡市に東北連絡所を設置、常駐スタッフを置いて自らも一か月のうち一週間から二週間は滞在し、小児アレルギー学会や子育て支援団体とも協働して、中・長期を展望した支援活動を開始、その取り組みは現在も、被災地のアレルギー対策やアレルギーの理解を深める啓発普及事業として継続しております。

病と闘いながらも、昨年12月初旬まで、東北での活動を行ってまいりましたし、亡くなる2週間前まで事務所に顔をだしスタッフ会議や各種委員会に出席、2013年度の事業について打ち合わせをしたり、企業の方と協働研究の相談をしたりしてまいりましたので、あまりに突然のことで茫然といたしました。病気を治して、アレルギーの子どもたちのために活動を続けたい、もう一度大船渡に行きたいと申しておりました栗木さんを思うと、残念無念でなりません……。しかし、私たちの気持ち以上に、もっと無念だったろうと思うと、遺志を引き継ぎ今後も誠心誠意活動をしていくことで、栗木さんの想いに応えたいと心に誓いました。

今まで皆さまから頂戴いたしましたご厚情に感謝いたしますとともに、引き続きのご支援をくださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。

尚、生前お世話になりました皆さまにお集まり頂き、5月26日(日)17時より「偲ぶ会」を開催いたします。多くの皆さまのご来臨をお待ちしております。

事務局長 中西 里映子

---

## 2、「アレルギーのおはなし」第十回 ～気管支喘息と心理的要因～

あいち小児保健医療総合センター 佐々木 溪円

---

新年度に生活環境の変化があった方もいるかと思いますが、適度な息抜き

はできているでしょうか。気管支喘息の発症、悪化、日常管理に心理的要因が関係することは多くの研究報告で示されていますが、喘息予防・管理ガイドライン 2012 でも研究報告の信憑性のランク（エビデンスレベル）は最も高いカテゴリーに分類されています。

喘息と心理的要因の関係性は大きく3つに分けることができ、1) 喘息がストレスによって発症、悪化、持続する場合、2) 喘息により不適応を生じている場合、3) 喘息の治療に対する不適応を生じている場合があります。1) では喘息の病状変化の前に、ストレス要素が存在します。2) では、喘息治療に伴う精神的負担、時間的負担などが患者さんに生じることで、学業・仕事などの社会生活に不都合な問題がおきる場合が考えられます。3) の例としては、吸入ステロイド剤の副作用に対する誤った情報による恐怖感を患者さんが感じることで、喘息の適切な治療が妨げられる場合が挙げられます。

小児の喘息患者さんの場合は、心理状態が不安定な保護者が患児に対して適切に対応できず、喘息の日常管理が悪くなるケースもあります。この不安定な心理状態が一過性ではない場合は、心療科的な対応が必要となるケースがありますが、「喘息患児である」児の症状をコントロールするためには、まず、服薬管理、発作予防のための環境整備に焦点をあてた指導が必要となります。服薬や環境整備に問題がないにもかかわらず病状がコントロールできない場合は、vocal cord dysfunction（息を吸うときに、喉にある声帯が正常に開かない状態）などの他の病気（喘息との合併も含めて）が原因として考えられないか専門的な評価が必要となります。

さらに、小児ではオペラント条件づけによる喘息発作の例もみられます。オペラント条件づけとは個体（ヒト）の自発的な行動の直後の環境の変化に応じて、その行動の頻度が変化するよう学習することを意味します。喘息では、症状出現時に保護者が過剰な対応をすることで、発作が保護者の過剰な関わりを得るための快刺激であると、患児は学習し、発作頻度が増えることとなります。オペラント条件づけを解除するためには、発作時に過干渉を行わず通常に対応をすること、非発作時に患児にどのように向き合うかを考えていくことが必要となります。喘息の長期管理薬が非発作時の病状コントロールに大切なことと同じように、オペラント条件づけを考えた心理的アプローチも非発作時の対応が重要ということですね。

参考資料：

Gustafsson PA et al. J Pediatr 125:493 (1994)

大矢幸弘 喘息 25:64 (2012)

喘息予防・管理ガイドライン 2012

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012

最近世界でも、日本でも震度5以上の地震が多発しています。南海トラフの大地震の前触れではないかと思わせてしまうほどです。

そこで、皆さんにもう一度問いたいと思います。「災害に対する備えは整っていますか？」

「はい・いいえ」で言うてみてください。迷わず「はい」と言えましたか？

「おおよそ、はいかな・・・」と答えた方は、まだ不十分なところがあるという意味だと思いますので、「はい」ではなく「いいえ」です。

「いいえ」のままにしておくことは、何の意味があるのでしょうか。

災害対応をもう無視できないところまで、来ている気がしませんか？いざ災害に見舞われれば、想像をはるかに超えた状況になるでしょう。皆さんはその状況から脱するため、多くの試練を超えなければなりません。今やっておかなければならない事を後回しにしていたら、その試練は何倍も何十倍もなることを想像した事がありますか。それを子供たちに与えることになっている自覚をもって頂きたい。

子供たちに胸を張って「守ってあげるね」と言えますか？言葉だけでなんの根拠もなく、「ママが守ってあげるから」と、おとぎ話を言っている自分自身に、早く気がついてほしい。

多くの被災地で、子供たちを守れなかったママ達が、自責の念を今でも持ち続け苦しんでおられます。そんな姿は、皆さんにとって他人ごとではありません。避けて通りたくても、避けられないところまできているんだと、現実を目を向け向き合うべきです。

高級ブランド品を購入したり、ランチや飲み会へ行くのは自由です。しかし、災害対応を後回しにするのは、順番違いではないでしょうか。ましてやアレルギー疾患の子どもの事を後回しにしているなんてことは論外です。子供の命を守るのは親の役目です。子供はいつどんな時にも、親が守ってくれると信じています。そんな子どもを裏切らないよう備えをして頂きたいと思います。

自分の家族の命を守るために、自分で救命処置が出来るように、日本赤十字や消防の訓練を受けて下さいと、今まで何度も申し上げてきましたが、家庭の事情や重篤なアレルギー症状がある為に、集団での訓練が出来ない方もおられます。そういった方々は、自宅でCPR&AED訓練ができるパーソナルトレーニングキッドもあります。約5,000円ほどの格安料金で購入ができます。キッドの中には、DVDも入っていますので、自宅で映像を見ながら何度でも訓練ができます。こういった道具を使って訓練をすることも可能なので、出来ないではなく、出来る方法を自分たちで真剣に考え災害に対する備えをして頂きたいと思います。

※CPR&AED 訓練ができるパーソナルトレーニングキッドの見本をご覧になりたい方は、貸出無料で送料および返送料金を皆様がもって頂ければ御貸出し可能です。ご希望の方は、郵便番号・住所・電話番号・氏名を、

[松本洋美のメールアドレス koinu\\_3\\_ds@yahoo.co.jp](mailto:koinu_3_ds@yahoo.co.jp)までご連絡ください。

CPR&AED 訓練ができるパーソナルトレーニングキッド

<http://www.laerdal.com/jp/docid/30842334/document>

---

#### 4、「アレ大修了生☆リレートーク」第五回 岩田弥生

---

保育園給食で日々アレルギーを持つお子さんの除去食代替食を調理しています。昨年アレルギー大学受講直前に私自身が運動誘発性アレルギーによるアナフィラキシー症状を起こし改めて食物アレルギーの知識の大切さを痛感しました。アレルギー大学では医学的な講義や米粉のパン粉等を利用した実習など職場で活用できる最新情報を学び他の受講生の方との情報交換も大変有意義でした。

保育園では手作りおやつもあり、除去、代替食の解除の度合いなどは病院の判断差やお子さんの体調などによって難しいことも多いですが楽しく安全でおいしい給食を提供できるようこれからも取り組んでまいります。

---

#### 5、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「鉄、カルシウムを摂ろう 彩りチャーハン」 近藤由美

---

春野菜が店頭にたくさん並ぶようになりましたね。

今回は緑黄食野菜の優等生を使って、サッと手軽にできる具沢山チャーハンです。代用ができるので、春野菜を使っても美味しそうですよ。



---

#### 6、東日本大震災に対する支援活動ご報告

---

2013年4月4日(木)～4月6日(土)に、気仙地域(陸前高田市、大船渡市、住田町)における「住まいの改善指導・調査」と、大船渡で6月30日(日)

に開催予定の「アレルギー講演会と交流の集い」の打ち合わせを主な目的として、大船渡市と陸前高田市を訪問しました。

住まいの調査は、東北地域の復興支援事業の一環として、また同時に、近い将来起こると言われている災害に備える調査の一環として、名古屋工業大学大学院工学研究科産業戦略工学専攻 水谷彰夫教授、中部大学応用生物学部 須藤千春教授らと、岩手県、陸前高田市、大船渡市などの協力を得て行っています。

対象の仮設住宅および戸建住宅30軒に対して、昨年の9月には基礎調査を、また、10月～11月にかけて個別訪問調査を、加えて12月には、「結露の発生状況」の調査を行いました。今回は、調査開始から半年たちましたので、再度一軒ごと訪問をしてダニ及びダニアレルゲン量の測定、聞き取りによる環境調査、居室内の温湿度測定と、今後半年間の継続調査のお願いをいたしました。調査は、今回同行した水谷研究室の研究者と建築デザイン学科の准教授3名で、4月4日(木)～8日(月)にかけて行いました。1年間の調査結果が出ましたら分析をして、市の関係課や仮設の住民の方にフィードバックをいたします。

一方、中西は、東北連絡所スタッフの村上さん菊池さんと、6月30日の講演会の打ち合わせを行い、ご協力をいただく県立大船渡病院の瀧向先生をはじめ地元開業医の天津先生を訪問。講演会の周知依頼をするために、大船渡市と陸前高田市の教育委員会や児童家庭課など保育園担当課、保健所・保健センター、保育園など二日間かけて訪問しました。

どこも皆、講演会の主旨について歓迎をされ快く広報を引き受けてくださいました。6月30日に多くの方がご参加いただけることを願い、楽しみな気持ちになりました。

また、東北連絡所として一室をお借りし2年近くお世話になった「気仙教育会館」にも伺い御礼をいたしました。

栗木さんの体調が思わしくなく、バトンタッチして大船渡にいきましたが、滞在中の4/5の朝にご家族から訃報が届き愕然としました。名古屋に戻り今回の報告をするまで待つてほしかった・・・と思いましたが、涙をこらえ自治体を訪問する中で、何もかもがスムーズに進み、予定以上のことを達成できた時に、栗木さんがそばで見守ってくれていたに違いないと思えてきました。また、大船渡にいてみて、栗木さんが成した事業の偉大さと作ったネットワークや人間関係の温かさに感動をし、なぜ大船渡に楽しみに通ったのかがよくわかりました。

栗木さんが東北にかけた熱い想いをひきついで、まずは今年度の住まいの調査とアレルギー講演会を滞りなく行い成果をだすことで、天国から褒めてもらえるかな、と思っています。

### 「これからの季節は肌ストレスゼロの日焼け止め」

日差しがまぶしくなってきましたね。

皆さん、紫外線対策は十分でしょうか？紫外線量は3月からぐっと増えていきますので、まだの方は1日も早く紫外線対策を行ってくださいね。

そこで、これからの季節に欠かせない日焼け止め「モイストUVクリーム」をご紹介します。

・ルバンシュ モイストUVクリーム

<http://www.revanche.jp/goods/uv/sunprotect/>

敏感肌のために作られた商品で、とことん肌への優しさにこだわりました。様々な日焼け止めを試したけれど、どれも肌に合わなかったと悩める敏感肌の方々に、ぜひお試しいただきたい商品です。

こだわりポイントその1 「天然由来成分100%」

界面活性剤や防腐剤など、全ての成分が天然由来成分のみ。植物エキスやオーガニック成分などを使用しているので、肌への優しさは正真正銘です。

でも、肌に優しい日焼け止めは安心して使える代りに、伸びが悪く白浮きして、使用感はいまいちななんて思っていないですか？

こだわりポイントその2 「ノンシリコン処方なのに、なめらかなノビ」

軽いノビを表現するのに必要不可欠なのが、シリコン原料です。この商品は、ノンシリコンとは思えないほど、肌への伸びがとても良いです。するする伸びてすーっと馴染む使用感はクセになるはず。もちろん白浮きだってありません。

あと、気になるのは日焼け止め特有のカサカサ。塗ったそばから乾燥して、肌がつっぱるなんてことはありませんか？

こだわりポイントその3 「うるおいが続く」

潤いのヴェールが肌を優しく包み込んで、日中の紫外線と乾燥から肌をしっかり守ります。日焼け止めありがちなカサカサ感がなく、1日中しっとりとした潤いが続きます。

今までの常識を覆す「モイストUVクリーム」で、今年は肌ストレスゼロの紫外線ケアをぜひお試しください。

---

## 8、2013年度総会開催のご案内

---

日頃は、アレルギー支援ネットワークにご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

2013年度総会を5月26日（日）に開催いたします。

議会の議決権は正会員のみですが、出席者は議長の指名により発言をすることができ、一般会員、賛助会員、Web無料会員の方どなたでも総会に出席していただくことができます。

アレルギー支援ネットワークの活動を企画運営する理事・スタッフとの交流の機会にもなりますので、是非一度ご出席ください。皆さまからの忌憚のないご意見もいただきたいと思っております。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2013年5月26日（日） 14：00～15：00

場所：千種生涯学習センター 第5集会室

〒464-0072 名古屋市千種区振甫町3-34

（会場まで交通機関をご利用の方：地下鉄東山線 池下駅 より 市バス4番のりば「幹砂田1」行、「振甫町」下車すぐ。）

内容：(1)2012年度 事業報告 (2)2012年度 収支決算報告

(3)2012年度 会計監査報告 (4)2013年度 事業計画(案)

(5)2013年度 収支予算(案) (6)役員を選任について (7)その他

---

## 9、アナフィラキシー対応とエピペン講習会のご案内

---

新年度を迎えて、学校や園でアナフィラキシーのリスクを持った子どもたちへの対応が、教育・保育の現場で大きな課題になっています。認定NPO法人アレルギー支援ネットワークでは、教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を企画しました。ぜひ、この機会にお申込み下さい。

---

## 10、第8期アレルギー大学 申し込み受付中

---

第8期アレルギー大学開講まで1か月となりました。

本年度は6月1日（土）の愛知会場をかわきりに、岐阜、静岡、三重、千葉、新潟で開講致します。

今年度はとくに、専門職の方によりいっそう学んでいただけるよう、コース内容をリニューアルしました。

調理師、栄養士、保育士、養護教諭など専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、患者家族の知識向上などすべてにおいて、アレルギーのプロがお応えする、現場で即戦力となる講座となっております。



皆さま、お誘い合わせのうえご受講ください。

なお、研究実践 講座 No8110 「特別実習（病院実習） 臨床現場での食事指導」、講座 No：8009・8010 離乳食実習、講座 No：8019・8020 調理実習Ⅰは、定員に達しましたので締め切りました。定員に達した講座は随時アレルギー大学ホームページ お知らせにてご案内いたします。

皆さまのお申込お待ちしております。

<http://alle-sien.net/alle-dai/html/>

\*アレルギー大学 パンフレット配布にご協力していただける方を募集しております。

勤務先やお知り合いへパンフレットを配布していただける方は、アレルギー支援ネットワーク事務所（052-485-5208）までご連絡下さい。

---

#### 11、インターネット・アレルギー大学のご案内

---

アレルギー大学は、今年で第8回目の開講を迎えました。年々、受講の申し込みが増え、患者の保護者、保育士、教職員、委託給食会社の方など、多くの皆様に受講していただいています。

しかし、受講したいけど、「日程が合わない」、「会場までが遠い」、「託児がないと無理」などのご意見を頂き、「インターネット・アレルギー大学」を始めました。「インターネット・アレルギー大学」は、インターネットを介して「愛知会場」での講座を配信しますので、ご自分のペースで受講していただけます。

メルマガ会員様の周りで、アレルギーでお困りの方、ご興味のある方はいらっしゃいませんか。誰でも受講できますので、ぜひお勧めください。

アレルギー大学の修了生の方が、もう一度、復習のために受講されることもお勧めします。

詳しくは <http://www.alle-net.com>

または「インターネットアレルギー大学」で検索してみてください。

---

#### 12、5月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

---

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、  
お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど  
私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。  
交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、  
ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。  
参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

- 5月は 8日(水) 西尾アレルギーの会 アレッ子元気  
西尾市総合福祉センター4階 洗心庵  
9日(木) 天白アレルギーの会  
天白区在住サービスセンター・研修室  
15日(水) アレルギー支援ネットワーク  
アレルギー支援ネットワーク 事務所  
16日(木) 豊橋アレルギーっ子の会  
豊橋会館「さくらピア」児童保育室  
16日(木) 名東区アレルギーの会  
名東区在宅サービスセンター・研修室  
17日(金) あま市アレルギーの会  
美和公民館 和室1  
18日(土) 刈谷アレルギー児の親の会  
刈谷市民ボランティア活動センター  
25日(土) 緑アレルギーの会  
片平ふれあいセンター 和室  
守山アレルギーの会・名古屋南部アレルギーの会  
お休みです

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

皆様のご参加をお待ちしております。

---

### 13、事務局の窓辺 新メンバーの紹介

---

こんにちは、4月よりアレルギー支援ネットワークで勤務しております、西尾和代と申します。今回よりメールマガジンの担当をさせていただくことに

なりました。宜しくお願い致します。

私は今年の春に、栄養士の専門学校を卒業したばかりで、アレルギーの分野はもちろんのこと、栄養士としての知識も未熟者ですが、これから勉強し皆様のお役に少しでも立てられるよう努力してまいります。今後とも宜しくお願い致します。

---

#### 14、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

---

アレルギー支援ネットワークは震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動を行っております。

緊急事態でも迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うための「アレルギーっ子の防災セット」は、「登録シリコンバンド」「緊急連絡カード」「安否確認システム」の3点がセットになっています。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人または保護者の方です。アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方も登録可能で、一切費用はかかりません。ぜひ、ご登録をご検討下さい。

また、登録の際にご注意いただきたい点があります。下記の注意点をご確認の上ご登録下さい。

① 迷惑メールフィルター設定をしていませんか。

仮登録をされた後、本登録していただくためのホームページのリンクを仮登録で入力していただいたメールアドレスに送信していますが、迷惑メールフィルターによって受信不能（弾かれる）になっている方がたくさんいらっしゃいます。携帯端末だけではなく、yahooやGmailなどのフリーメール、プロバイダ提供のメールフィルターでも起きています。

お手数をおかけしますが、迷惑メールフィルターの設定を今一度ご確認をお願いいたします。

PCメールの受信（システムからの自動・一斉送信を受信）、なりすましメール（メーリングリストからのメールを受信）の設定をお願いいたします。

その際のアドレス（ドメイン）は、@alle-sien.sakura.ne.jp と、@alle-res.com です。

② 登録の際、「ルート認証が確認できないため、接続できません」等の警告が表示され、接続できなくなる事があります。

ご登録の際に、i-mode や ezweb、Y!ケータイなどで接続すると表示が出てしまい接続できない場合があります。これは、暗号化通信で中継してくれるサーバがパソコン用（一部のドコモの機種に対応）の回線にしか対応できていないために発生しています。

これらを避けるため、皆様の登録の際には、「フルブラウザ」「PCサイトビューア」「PCサイトブラウザ」などのパソコン用のホームページ閲覧機能をお使いいただき、「ルート認証が確認できません」と出ても無視して接続してください。

それでも接続できない場合、登録や情報更新の時は、申し訳ありませんがパソコンをご利用ください。

また、すでに登録されている方で、パスワード設定をされていない方（2011年8月末から接続されていない方）は、防災ネットワークのトップページ左下の「パスワードを忘れた方は、こちら」の「こちら」をクリックしていただき、パスワードを設定してください。

新システムからご自身で登録情報の確認や更新ができるようになります。

なお、新システムはまだ改修途中で、登録内容の入力方法の簡素化や医療機関・協力組織との連動性の向上などを進めています。

皆様には、まだご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしく申し上げます。

---

#### 15、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

---

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があると言う皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

---

#### 16、メールマガジン会員募集中！無料です。

---

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！

[info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)までお気軽にどうぞ。

-----  
17、募金にご協力ください  
-----

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト  
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！  
～

(※GiveOneの寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」

<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html>を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

-----  
=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは  
[asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com)(メルマガ編集部)までお願いします。また、  
今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、  
お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。  
(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする  
場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、  
メルマガ編集部 [asn-mailmagazine@alle-net.com](mailto:asn-mailmagazine@alle-net.com) までお尋ねください。な  
おメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに  
関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----  
★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せく  
ださい。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6(3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆ ◆ -----